

教職員の皆さんへ

平成30年度 教職員サマーセミナー 受講生募集

夏季休業を利用して、今日的な教育課題についての見識を深め、教職に関わる教養を高め、幅広い教師力を身に付けませんか。明日の教育活動に役立つ講座を用意しています。

講座案内

裏面のとおり14講座を開きます。詳細は、

- 宇都宮大学教職センターのホームページ

<http://www.utsunomiya-u.ac.jp/facility/cfte.php>

- 栃木県総合教育センターのホームページ

<https://www.tochigi-edu.ed.jp/center/>

に記載されています。

対象者

小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校等の教職員

場所と時間

宇都宮大学（峰キャンパス）において、9時30分から16時まで
各講座の会場は、宇都宮大学教職センターまたは栃木県総合教育センターのホームページの講座案内でご確認ください。

申込み方法

宇都宮大学教職センターホームページからお申し込みください。

(<http://www.utsunomiya-u.ac.jp/facility/cfte.php>)

締め切り 平成30年7月6日（金）

その他

宇都宮大学及び総合教育センターから旅費の支出はありません。

また、受講する講座によっては、教材費がかかる場合もありますので、御承知おきください。

- ① このセミナーは、中堅教諭等資質向上研修の選択研修の対象にもなっています。
- ② 定員を超えた場合は、先着順とします。
- ③ 会場の宇都宮大学（峰キャンパス）には自家用車で入構できます。
アクセス及び構内案内は、宇都宮大学ホームページで確認してください。

問合せ

宇都宮大学教職センター 地域連携部門 TEL 028-649-5272

主催 宇都宮大学教職センター・栃木県総合教育センター

番号	実施日	講座名	分野	講師	定員	対象校種
1	7月23日(月)	特別支援教育におけるICF支援シート活用	特別支援教育	池本喜代正	50名	小・中・高・特
2	7月24日(火)	教師も楽しむ理科実験	理科教育	南 伸昌	24名	小・中・高・特
3	7月27日(金)	高校のアクティブ・ラーニング実践報告	授業方法	皆川 純男	50名	中・高
4	7月27日(金)	発達障害児へのアセスメントと個別支援	特別支援教育	原田 浩司	100名	小・中・高・特
5	7月30日(月)	しみじみとする授業：子ども達がつながる深い学習	授業方法・分析	溜池 善裕	50名	小・中
6	8月2日(木)	授業研究の運営と課題	教職大学院	松本 敏 人見 久城	15名	小・中・高・特 教職5年目 以上の経験者
7	8月3日(金)	学校改革の実際と課題	教職大学院	小野瀬善行	15名	小・中・高・特 教職5年目 以上の経験者
8	8月6日(月)	発育期における体育・スポーツ指導のあり方	保健体育	加藤 謙一	20名	小・中・高・特
9	8月6日(月)	「現実の世界」との対話を大切にした算数・数学の授業づくり	数学教育	川上 貴	20名	小・中(数学科)
10	8月7日(火)	障害状況にある子どもを理解するということ —教育的係わり合いからの検討—	特別支援教育	岡澤 慎一	30名	小・中・高・特
11	8月8日(水)	体ほぐし 心ほぐし 関係ほぐし(その5)	保健体育	茅野 理子	30名	小・中・高・特
12	8月9日(木)	教師のためのやさしいプログラミング	情報教育	川島 芳昭	25名	小・中・高・特
13	8月9日(木)	国語教育の仕事	国語教育	飯田 和明	16名	小・中・高・特
14	8月16日(木)	「特別の教科 道徳」の授業の教材と発問	学校教育	和井内良樹 上原 秀一	100名	小・中

申込期限 平成30年7月6日(金)

1. 特別支援教育における ICF 支援シート活用

(分野：特別支援教育)

講師：池本 喜代正

実施日・時間：7月23日(月) 9時30分～16時

会場：宇都宮大学峰キャンパス

5号館地域連携教育研究センター2階 5C21教室

対象教員：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

定員：50名

準備等：特になし

概要：通常の学級や特別支援学級などに在籍する特別な支援が必要な子どもの見方・支援の在り方を、WHOのICF(国際生活機能分類)の視点からICF支援シートを活用して検討します。まずは、ICFの考え方を講義・理解していただき、実際に支援シートに子どもの実態を記入し、支援方法・手立てについて討議しながら考えたいと思います。

ICF支援シートを作成することは、個別の指導計画作成の基礎となります。個別の指導計画を作成する上での考え方や手立てについても言及したいと思います。

※参考書：『特別支援教育のためのICF支援シート活用ブック(田研出版、池本喜代正(編著))』

2. 教師も楽しむ理科実験

(分野：理科教育)

講師：南 伸昌

実施日・時間：7月24日(火) 9時30分～16時

会場：宇都宮大学峰キャンパス 8号館C棟3階 理科教育学学生実験室

対象教員：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

定員：24名

準備等：白衣、もしくは実験用着衣。安全メガネ(貸出有り)。ハサミ。

概要：以下の実験や工作を扱う予定です。(ご要望等により変更の場合あり)

- ・ものの重さ：誤概念/軽いものの計量
- ・燃焼：炎の性質/燃える条件/固体・液体・気体の燃え方の違い/水素の発生と性質の確認
- ・水溶液：酸・アルカリと物質の安定性/身の回りの試薬・指示薬/電気泳動/化学電池
- ・電気：発電・蓄電・利用/超簡単モーターのしくみ
- ・光(身近な屈折)：陽炎/シュリーレン現象/全反射

※実験に適した楽な服装で来てください。(作業着、ジャージ可)

3. 高校のアクティブ・ラーニング実践報告

(分野：授業方法)

講師： 皆川 純男

実施日・時間： 7月27日（金）9時30分～16時

会場： 宇都宮大学峰キャンパス UUプラザ2階 コミュニティフロア

対象教員： 中学校・高等学校

定員： 50名

準備等： 特になし

概要： この講座では、①アクティブ・ラーニングが求められる背景とその意義についての講義と、②高校教員（国語・地歴・数学・理科・英語の5名を予定）からの実践報告、③シンポジウム形式で報告者と参加者による対話を行います。

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の取組が進められており、そのヒントを見出していただければと思います。

講座の内容は高校ですが、中学校の先生方の参加も歓迎します。

4. 発達障害児へのアセスメントと個別支援

(分野：特別支援教育)

講師： 原田 浩司

実施日・時間： 7月27日（金）9時30分～16時

会場： 宇都宮大学峰キャンパス 大学会館2階 多目的ホール

対象教員： 小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

定員： 100名

準備等： 筆記用具、ストップウォッチ、計算機（スマホ等でも可）
なお、机が無い場合、クリップボード等ご準備ください。

概要： 特別支援教育の中でも通常学級における発達障害児への個別支援の在り方が問われています。特に、通常学級では早期発見・早期支援の可否が、子どもたちの学校生活の適応に大きな影響を及ぼします。

今回は、発達障害のアセスメントについての方法を体験的に学んだり、事例を通じた個別支援の在り方を考えていきます。

5. しみじみとする授業：子ども達がつながる深い学習

(分野：授業の方法・分析)

講師：溜池 善裕

実施日・時間：7月30日(月) 9時30分～16時

会場：宇都宮大学峰キャンパス 8号館C棟2階 大会議室

対象教員：小学校・中学校

定員：50名

準備等：特になし

概要：学習指導要領では従来の知識・技能・思考力・判断力・表現力に加えて、「学びに向かう力」や「人間性の涵養」が求められるようになりました。子ども達が育つことを大きくとらえ、どのように学習を設定しそれを授業という形で実施していくかは、考えるべき大きな課題です。その課題に向けて、学習指導では具体的にどんなことをすればよいのかについて、具体的な実践の授業記録をもとに検討しながら受講者といっしょに考えていきます。

6. 授業研究の運営と課題

(分野：教職大学院)

講師：松本 敏
人見 久城

実施日・時間：8月2日(木) 9時30分～16時

会場：宇都宮大学峰キャンパス 6号館B棟1階 演習室

対象教員：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校
(教職5年目以上の経験者)

定員：15名

準備等：特になし

概要：学校内外での教員研修やそこで行われている授業研究の実態と課題について議論し、授業研究の質を高める議論の在り方についても省察と討論を通して考えます。ビデオ視聴により授業分析を行い、授業のねらい、子どもの理解との関係で論じ合い、授業改善の方策を考えます。

教育実践高度化専攻(教職大学院)の院生と一緒に学びます。

7. 学校改革の実際と課題

(分野：教職大学院)

講師： 小野瀬 善行

実施日・時間： 8月3日(金) 9時30分～16時

会場： 宇都宮大学峰キャンパス 6号館B棟1階 演習室

対象教員： 小学校・中学校・高等学校・特別支援学校
(教職5年目以上の経験者)

定員： 15名

準備等： 特になし

概要： 組織としての学校をエンパワメントしていくことは、日々の教育実践を充実させるために重要です。自らの経験や実践をふりかえりながら「学校づくり」のためにどのような理論が唱えられてきたのかを考察し、よりよい学校づくりのための複眼的な見方を学ぶ機会が求められます。本セミナーでは、学校改善のための理論や事例を踏まえ、学校改善のための取り組みについてプレゼンテーションを行うなどの演習を進めていきます。

教育実践高度化専攻(教職大学院)の院生と一緒に学びます。

8. 発育期における体育・スポーツ指導のあり方

(分野：保健体育)

講師： 加藤 謙一

実施日・時間： 8月6日(月) 9時30分～16時

会場： 宇都宮大学峰キャンパス

5号館地域連携教育研究センター2階 5C21教室及び第一体育館

対象教員： 小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

定員： 20名

準備等： トレーニングウェア(着替え等)、体育館シューズ、はさみ

概要： 現在の子どもが置かれている環境を示しながら、子どもの体力低下に歯止めをかけるための具体的な考えやその方法について紹介します。また、基本的な動作に関する観察の観点を示し、指導者に必要な運動観察力を高める演習も行います。さらに基本的な動作に関する動きの実技・指導を通して体育授業を効果的にすすめる方法についても扱います。

※講義だけでなく、実技も予定しているのでケガには十分注意してご参加ください(見学可)。実技内容はハードではないのでご安心ください!

9. 「現実の世界」との対話を大切にした算数・数学の授業づくり

(分野：数学教育)

- 講師： 川上 貴
佐伯 昭彦（鳴門教育大学大学院）
金児 正史（鳴門教育大学大学院）
- 実施日・時間： 8月6日（月）9時30分～16時
- 会場： 宇都宮大学峰キャンパス UUプラザ2階 コミュニティフロア
- 対象教員： 小学校・中学校（数学科）
- 定員： 20名
- 準備等： 特になし
- 概要： 新学習指導要領では、算数・数学の学習過程の一つとして、「現実の世界」と「数学の世界」を行き来する活動が重視されています。私たちは、算数・数学の授業において、「現実の世界」を上手く生かしているのでしょうか。「現実の世界」と「数学の世界」の行き来という視点で見直すと、教科書の題材や発問、指導展開等が違ってみえてくるはずです。こうした体験を、実際に算数・数学の授業づくりに取り組みながら味わう講座です。

本講座は、教師教育研究プロジェクトの一環として実施しますので、記録用としてビデオ撮影やワークシート・アンケート等にご協力頂きたいをお願い申し上げます。なお、個人情報、研究目的以外には使用いたしません。また、当日は、他大学の教員とチームティーチングで運営する予定です。

10. 障害状況にある子どもを理解するということ

—教育的係わり合いからの検討—

(分野：特別支援教育)

- 講師： 岡澤 慎一
- 実施日・時間： 8月7日（火）9時30分～16時
- 会場： 宇都宮大学峰キャンパス 8号館A棟3階 8A34教室
- 対象教員： 小学校・中学校・高等学校・特別支援学校
- 定員： 30名
- 準備等： 特になし
- 概要： 本講座では、“障害”の種類や程度に関わらず、障害状況にある子どもを理解する営みとはいかなるものであるかについて検討を重ねます。教育的係わり合いに関する映像資料をふんだんに紹介し、受講者全員でやりとりを重ね、上記の問いへの接近を試みたいと思います。今回は、知的障害事例との教育実践を取り上げる予定です。なお、本講座は、各種検査法や指導プログラム等を紹介するものではございませんのでご注意ください。

1 1. 体ほぐし 心ほぐし 関係ほぐし (その5)

(分野：保健体育)

講 師： 茅野 理子

実施日・時間： 8月8日(水) 9時30分～16時

会 場： 宇都宮大学峰キャンパス 第二体育館

対象教員： 小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

定 員： 30名

準 備 等： タオル、バスタオル

概 要： 体や心の緊張をほぐすとともに人間関係の緊張をほぐす様々な「遊び」の実践——そのまとめとして、これまでの実践から、誰もが楽しく、すぐに活用できる内容を選んで紹介します。初めて受けられる方も大丈夫です。アイスブレーキングや「体ほぐしの運動」に応用できる内容です。柔軟に対応できる心と体となるように…夏の一日、先生方ご自身が「ほっ」とする時間を持ちませんか。

1 2. 教師のためのやさしいプログラミング

(分野：情報教育)

講 師： 川島 芳昭

実施日・時間： 8月9日(木) 9時30分～16時

会 場： 宇都宮大学峰キャンパス 8号館F棟2階 計算機室

対象教員： 小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

定 員： 25名

準 備 等： 特になし

概 要： このセミナーは、学校教育に導入されるプログラミング教育を指導するために必要な知識や考え方をプログラミング初心者向けに体験的に修得してもらうことを目的としています。使用する言語は、ビジュアルプログラミング言語である「Scratch」を用いますが、コンピュータを使わないプログラミングについても体験してもらいます。

1 3. 国語教育の仕事

(分野：国語教育)

講師： 飯田 和明

実施日・時間： 8月9日（木）9時30分～16時

会場： 宇都宮大学峰キャンパス 8号館A棟2階 8A21教室

対象教員： 小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

定員： 16名

準備等： 真正に求められると考える言葉の教育の在り方について、当日話ができるよう、事前にお考えおきください。

概要： 言葉の教育を考える上での課題を巡って話し合い、考察を進めることの出来る場をつくりたく思います。こちらから提示する資料、課題と合わせ、参加の方々からも話題、課題をお持ち頂き、国語教育の現状にかかる見方の交流、共有を図り、真正に必要とされる言葉の教育を模索すべく、互いに視界を広げ、知見を得ることを目指します。現代の社会、その中での教育という視野で、国語教育の仕事を検討したいと考えています。

1 4. 「特別の教科 道徳」の授業の教材と発問

(分野：学校教育)

講師： 和井内 良樹
上原 秀一

実施日・時間： 8月16日（木）9時30分～16時

会場： 宇都宮大学峰キャンパス

8号館C棟2階 大会議室及び5号館地域連携教育研究センター2階 5C21教室

対象教員： 小学校・中学校

定員： 100名

準備等： 特になし

概要： 「特別の教科 道徳」（道徳科）は、本年度より小学校で実施されており、中学校では平成31年度より実施されます。児童生徒の道徳性の育成に向けて、道徳科の授業ではどのような教材を活用しどのように発問をしたらよいでしょうか。具体的な教材を使ってこれらの問題を考えていただきます。小学校低学年、小学校中学年、小学校高学年、中学校の各段階で用いられる代表的な教材を取り上げて、グループワークを中心とした講習を行います。